

「ゆっくりとスタートしましょう！」

校長 藤倉 悟

「おはようございます」

こうして、皆さんの元気な顔を見ながら、挨拶できることを本当にうれしく思います。

これは大げさなことではありません。この夏休み中に全国では事故により尊い子供の命が奪われているからです。海や川へ行かなくても普通に道路を歩いていて事故に巻き込まれる可能性もあります。今後も自転車の乗り方も含め、各自で十分に注意してほしいと思います。

さあ、今日から2学期がスタートします。今の皆さんの気持ちはどうでしょうか？

2学期は体育大会、学校祭、合唱コンクールと多くの行事があり、楽しみにしている人、部活動の新人戦でがんばりたいという目標を持っている人もいます。どうか自分の目標に向かって前進してください。

一方、今日登校することが、とてもつらかった人もいないのでしょうか？しかし、これは当然のことです。30日間、学校のルールに縛られず自分のペースで生活し、心も体もその状態に慣れてしまっているからです。1学期簡単に過ごしてきた6時間授業やそれに続く放課後活動も、一度リセットがかかってしまうとそのハードルが高く感じられるものです。学校を休みたいと思う気持ちになることだってあります。しかし、焦ることはありません。ゆっくりと心と体を通学バージョンに慣らしていきましょう。もし、自分の気持ちが落ち込み、その状態が続くときには家族、友人、先生などそばにいる人に打ち明けると良いと思います。口に出して誰かに伝えることで、気持ちが楽になることはよくあることです。

今回、私は命の大切さについて考えたくなり、平成28年の厚生労働省のデータを確認しました。10歳～14歳の死因の順位です。1位が悪性新生物、2位が自殺、3位が不慮の事故です。1位と3位はどうすることもできない要因を含んでいますが、2位にあがった自殺は自分の意志や周囲の人たちの見守りや声掛けで未然に防ぐことが可能だと考えます。気持ちが不安定になりやすいこの8月末から9月にかけて、もし自分自身に余裕があるなら周りにいる元気のない人に声をかけてみてください。あなたの呼びかけが誰かの命を守ることになるかもしれません。

最後になりますが、これから先、つらいことがあっても、決して自分の命をあきらめるようなことはしないでください。今は長い人生の中の中学生という本当に短い期間です。これから皆さんが成長していく中で多くの人との出会いもあり、楽しいと思えること、自分が自分で良かったと思える日が必ずやってきます。皆さんが生きているということ自体が素晴らしいこと、価値があることなのです。

